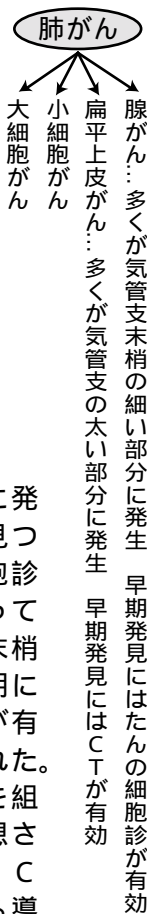
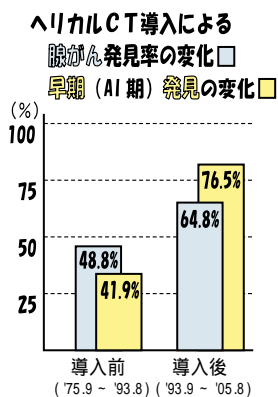


CTを使った 肺がん検診のはなし

- 19 -

ところで、一口に肺がんと言っても、いろいろなタイプがある。肺がんは、病理組織学的に、腺がん、扁平上皮がん、小細胞がん、大細胞がんなどに分類されている。この組織型による分類でみると、気管支末梢の細い部分に発生するがんには腺がんが多く、気管支の太い部分に発生するがんには扁平上皮がんが多い。



気管支の太い部分に発生するがんを早期に見つけるには、たんの細胞診が有効なことがわかっている。また、気管支末梢に発生するがんを早期に見つけるには、CTが有効であろうと考えられた。

発見肺がんの比率を組織型別にみると、予想された通り、腺がんが、CT導入前の48.8%から導入後には64.8%と、増えていた。また腫瘍の直径を比べると、導入前30.4mmから導入後17.4mmと、約半分の大きさで、見つけれられるようになった。

病期を比べると、より早期であるA期(直径3cm未満、リンパ節や多臓器に転移を認めない)の割合が、41.9%から76.5%に増えており、CT導入によって早期の肺がんをより多く見つけられるようになったことがわかる。5年生存率も導入前の52%から導入後の78%へと大幅に向上した。(以下次号)

Violinist 岩切陽子の音楽ひろば

～♪ たのしく心と体リフレッシュ ♪～



梅雨の晴れ間が続いた6月13日午後、第5期4回目の「音楽ひろば」が開かれました。

この日は、先生のベトナム旅行のおみやげ話から始まりました。目的のフェスティバル、食、買い物堪能され、満点の旅のようでした。おみやげは民族楽器やそのCD。足もみ体操のBGMとして聴かせて頂きました。

コミュニケーションゲームは、先生がベトナムの竹琴(トゥルン)で演奏する「カエルの歌」の、鳴き声部分を先生の指示の音で歌うというゲームでした。

コミュニケーションゲームは、先生がカゴから取り出すフルーツの名前などを、うたのリズムに合わせて「サカサマ」に答えると言

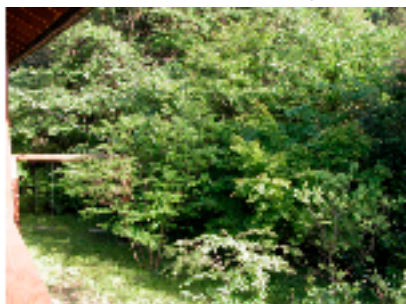


「トゥルン/T' rung」

トゥルンはもともと中部山岳民族のもので、竹の長さや太さの違いで音階が作られている。

うもの(例えば、バナナ ナナバ)。3文字は簡単にできますが、4文字、5文字と爆笑回答が続出。今回は「耳と頭と口」のトレーニングがメインでした。子どもと一緒にやるとさらに楽しくできそうなゲームですね。

「音楽ひろば」は、9月より第6期が始まります。多くの方の参加をお待ちして降ります。



(若葉があふれる座禅洞の中庭)

第6期教室、受付開始!

「音楽ひろば」は、8月はお休みを頂き、9月より「第6期教室(全5回)」がスタートします。音楽セラピーに関心をお持ちの方、下記日時にぜひ一度おためし体験してみませんか?

Violinist 岩切陽子の音楽ひろば

<第5期 5回目(最終回)開催日>

'06.第5回 7月11日(火)

・午後:13時半開始

参加をご希望の方は当研究所までお申し込み下さい。

058-296-4038 (随時受付)

Violinist 岩切陽子の音楽ひろば

第6期教室、開催予定目



お問い合わせ、お申し込みは下記へお願いします。

058-296-4038

(随時受付)

<第6期 開催日>

'06.9月~'07.1月 第2火曜日(全5回)

・午前:10時半開始

・午後:13時半開始

<開催予定日>

第1回 9月13日(水)

第2回 10月10日(火)

第3回 11月14日(火)

第4回 12月12日(火)

第5回 07.1月 9日(火)

<参加費>

前納制(全5回分・・・10,000円)

・1回のみ参加・・・2,500円

<テーマ>

・「右脳さん、さあ起きましょ!!」

~音楽に触れることで右脳を刺激し、

手や足、体の機能を活発にさせましょ!~

・「ヴァイオリンの演奏」

~心と体にやさしく響く音楽鑑賞~

<内容>

・毎回、岩切先生のヴァイオリン演奏があります。

・からだをほぐすために「足もみ」をします。裸足になれる服装、または5本指靴下でおいでください。

・右脳を刺激し、からだの機能活性化のために、テーマにもとづいた様々なコミュニケーションゲームを行います。

◎注目!◎「リラックス度チェック」

「音楽療法がこころとからだに与えるリラックス効果」を実感していただくために、音楽ひろばの開始前と終了後、看護師が「血圧、脈拍、体温、血中酸素、体脂肪率」を測定します。